

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第185号

ヒックス

緊急事態宣言の間の情報提供施設事業の動き

施設長 竹内恵子

緊急事態宣言が解除され、一ヶ月余りが経過しました。宣言中、横浜ラポールは全館利用休止、聴覚障害支援課も職員を2班に分けての交代勤務となっていました。6月1日から通常体制に戻り久しぶりに全員が顔を合わせ、職場内の張り詰めた空気が少し和らいだように思います。しかし宣言解除後すぐに「東京アラート」が発動、市内でも院内感染が続いたりと未だ収束は見えません。この間の情提の各種事業の対応についてご報告します

◆通訳派遣・研修事業：この間の通訳派遣人数は、4月：547件（令和元年度：1,141件）5月：471件（令和元年度：951件）で、昨年比半数以下となりました。依頼者には急ぎでない内容は延期や回数を減らしていただいたり、時間短縮が可能なものについては、依頼者のご理解・ご協力をいただくなど、調整をはかりました。

しかし、救急手話通訳派遣はもちろん、持病の通院や訪問看護等、命に直結する依頼については通常通り通訳者の派遣が必要でしたので、この状況下においても、通訳者の皆さんには活動を継続していただきました。5月中旬から、（一財）全日本ろうあ連盟様、日産自動車株式会社様等の団体、企業、個人の方から透明マスクやフェイスシールドの寄贈があり、通訳者に送付を開始しています。また「遠隔手話通訳」を試行的に開始し、少しずつ利用申込や問合せが入っています。

◆聴覚障害者相談事業：通常夏と年末に行っている「お知らせ」の送付を前倒しし、感染予防に関すること、県事業として始まった感染者に対する遠隔手話通訳サービスのご案内、特別定額給付金について等、相談利用者に必要な情報を封書で2回送付しました。訪問相談は自粛、来所による相談もしにくい状況であることから、LINEによる遠隔相談を開始しました。現時点で登録（お友達申請）している利用者は約100人、これまで連絡手段がFAXのみだった高齢の聴障者からの問い合わせも増え、サービス向上に繋がったと感じています。

◆普及・啓発事業、映像制作事業：感染予防等の動画を作成し、ホームページにアップした他、遠隔相談の利用者に対しLINEによるお知らせ動画の配信を開始しました。また、（一社）神奈川県聴覚障害者連盟を中心に組織された「神奈川県コロナ危機管理対策本部」からの依頼を受け、「コロナかな？と思ったら～遠隔手話サービスについて～」の動画作成に協力し、対策本部のフェイスブック等で配信されています。

以上、厳しい状況ではありますが、新たな取組みも進みつつあります。職員が2班に分かれていた時は、Zoomによるリモート会議も取り入れました。

今後も関係団体と連携し情報収集しながら「新しい生活様式」に沿った、「新しい情提事業」を模索していくことになりそうです。



派遣事業

遠隔手話通訳 試行中です！

今年5月より日本財団の新型コロナウイルス対策支援システムによる遠隔手話通訳を試行しています。この取り組みは、情提内にある通信機器（パソコン、タブレット）と利用者のスマホ、タブレットをつなぎ、通訳者が離れた場所で、画面を通して手話通訳をするサービスです。

これにより、利用者との接触を避けられるほか、手話通訳者の移動中の感染リスクが無くなること、また現在面会制限により通訳者の派遣が不能となっている入院中、入所中の聴覚者への情報保障も可能となります。

現在、少しずつ遠隔手話通訳の周知も進み、病院などの通訳依頼を職員で対応している状況です。遠隔手話通訳は、感染リスクが減ってよい面もあります。しかし、現場の状況がつかみにくかったり、電波や通信状況によっては通訳が難しいといった課題もあります。今後どのような場面に利用できるか検討していきたいと思えます。



相談事業



での遠隔相談を始めました！

新型コロナウイルスの感染予防の観点から、利用者が横浜ラポールに来所することなく相談ができるように、SNSアプリ「LINE」のビデオ通話機能を利用した遠隔相談を4月からスタートしました。

かつて聴覚障害者の連絡手段といえばメールやFAXなど文字によるものが主体でしたが、スマートフォン等の普及でビデオ通話が可能になり、手話で「電話」ができるようになりました。この「LINE相談」もスタート以降、日々利用者が増加し、ニーズの高さを実感しています。コロナ禍を契機にICTを活用した「新しい相談支援のあり方」を今後も模索していきます。

※ご利用希望の方にはLINEアカウントをご案内しています。お問い合わせください。

普及・啓発事業

中区聴覚障害者協会の集まりに参加しました



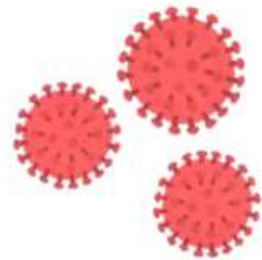
6月12日（金）麦田地域ケアプラザで行われた中区聴覚障害者協会の集まりに、当施設職員が出向き新型コロナウイルス感染防止のための取り組みをお話しました。

7人の参加者があり、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを守りつつ、短時間ではありますが、LINEのビデオ通話による相談について、また病院での遠隔手話通訳についての説明を行いました。

このように普及・啓発事業では、当事者団体の他、地域包括ケアプラザ等の支援者のみなさまにしてお話させていただく「支援者向け出前講座」も行っています。ご利用希望がありましたら、普及・啓発事業担当の金子・伏原までお問い合わせください。

聴覚障害者情報提供施設からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症に伴う 情報提供施設の臨時休業について



○の日・祝日が臨時休業日です。職員もいません。
(土曜日は職員います。)

※休業についてはホームページをご確認ください。

2020年6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2020年7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

衛生用品(フェイスシールド、透明マスク)のご寄付の報告

この度、たくさんの方からご寄付をいただきました。いただいた衛生用品は、通訳者に配布し、有効に使わせて頂きます。

寄付者の皆さま(順不同:令和2年6月現在)

【フェイスシールド】

日産自動車株式会社様、ニッサン・モータースポーツ・インターナショナル株式会社(NISMO)様、株式会社城南様、横浜市手話通訳者協会様

【透明マスク】

(一財)全日本ろうあ連盟様、早瀬久美様、北尾都様

～職員の異動がありました～

【退職者】

5月31日付 市野川 直子 (いちのかわ なおこ) : 聴覚障害支援員

訂正 184号(4月30日発行)の「令和2年度にあたって◆通訳派遣・研修事業」の記事について

誤: 派遣・紹介人数は計12,764人(令和元年度:13,190人)

正: 派遣・紹介人数は計12,764人(平成30度:13,190人)

訂正してお詫びいたします。

派遣事業

新市庁舎に遠隔手話通訳タブレットが設置されました

6月29（月）横浜市役所が、旧市庁舎のある関内駅前から馬車道駅（桜木町駅）へ移転しました。桜木町駅からは徒歩3分、馬車道駅1C出口からは直結しており、アクセスが便利になりました。

新市庁舎の3階には受付があり、そこに遠隔手話通訳サービスのタブレットを設置しています。市庁舎に来庁した際に、手話通訳が必要な方は、受付の担当者にその旨をお伝えください。

また、新市庁舎は、「横浜市福祉のまちづくり条例」などに基づきユニバーサルデザインに十分配慮した建物になっています。市庁舎内の各所にはヒヤリンググループも設置されています。



出た！データ！

（5月末までの累計）

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	756	9	765	1,001	医療	13	15
司法	2	0	2	7	職業	7	9
教育・保育	14	1	15	229	教育	1	1
労働・雇用	9	0	9	117	住宅	6	7
社会生活	156	4	160	377	生活	25	32
自己啓発	0	0	0	44	福祉	12	16
福祉推進	55	9	64	290	法律	4	7
相談員	0	0	0	0	聞こえ	0	0
他都市	2	0	2	36	合計	68	87
合計	994	23	1,017	2,101	昨年同月	137	198
昨年同月	1,814	287	2,101				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	0	参加人数	0	自主制作作品数	4
要約筆記	回数	0	参加人数	0		

情報動き

5月

- ※手話通訳、要約筆記者研修は全て延期
- 2~6 情報提供施設臨時休館
- 11 非常勤手話通訳者会議 ※中止
- 20 (臨時)管理職会議
- 26 指定管理選定委員会 ※中止
- 28 横浜市、横聴協との協議（養成関係）
- 29 退職者辞令交付

6月

- ※手話通訳、要約筆記者研修は全て延期
- 2 (臨時)管理職会議
- 8 横浜ラポール施設利用一部再開
- 9 (臨時)管理職・主任会議
- 9 主管課打合せ
- 11 事業報告ヒアリング
- 11 防災機器点検
- 11 消防局司令課来訪
- 15 非常勤手話通訳者会議
- 24 主管局定例会議

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：令和2年6月30日

発行者：(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>